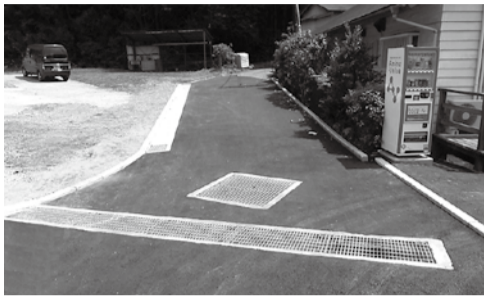


平成28年度に実施する主な事業

道路新設改良整備事業

予算額 7,926万円



↑整備された道路

良好な居住環境の向上を図り、住み良いまちづくりを実現するため、地権者の理解と協力を得ながら安全で快適な道路を整備しました。また、幅員の狭い生活道路は、緊急車両の進入に困難をきたし、災害時の救助活動など防災上の問題や課題もあるため拡幅整備を実施し、災害に強いまちづくりを推進していきます。

定住少子化支援事業

予算額 1,499万円



↑シティセールスで松田町をアピール

定住少子化対策を推進するための支援などの事業です。移住・定住希望者への積極的な情報提供、若者の出合いの機会づくり、ふるさと松田同窓会の開催への補助、実際に町に住まいを定めた方や雇用を創出した企業、民間賃貸住宅に対する家賃補助を実施します。また、松田土木跡地内の旧警察官舎の利活用を図るための事業を実施します。

おもてなし推進事業

予算額 701万円



↑外国人を招いておもてなし

松田町の歴史に根付く「おもてなし」の文化を町丸となり内外に向け発信・浸透させるための事業です。参画型のソフト事業の実施や町内各所へWiFi環境の整備、ふるさと大使によるおもてなし公演などを通じ、人や地域のつながりを再発見することで松田の魅力としての「おもてなし」の価値を高め、交流・定住人口の増加を図ります。

商工・観光振興事業など

予算額 5,326万円



↑若葉まつり

町内の商工業や観光業の発展を目的とし、フェスティバル関連の開催経費や各種補助を実施するほか、本年度はJR松田駅北口脇のポケットパーク及び西平畑公園内におもてなしのためのトイレを設置します。また、魅力ある地域づくりに貢献するため、松田ブランドの創出や特産品開発のための事業を展開していきます。

学童保育運営事業

予算額 1,808万円



↑みんなでおやつの時間

松田小学校と寄小学校の教室を利用し、小学校1年生から6年生までの児童を対象に学童保育事業を実施。28年度は松田学童保育室のクラス数を2クラスから3クラスに増やし、より安心して子どもを預けられることが出来る環境をつくっていきます。

学校ICT推進事業

予算額 3,067万円



↑タブレットを使って授業を進めます

ICTを活用した教育の推進を図るため、ICT機器（タブレット、大型提示装置）の導入や、授業を効果的にサポートする支援員の派遣をおこないます。本年度は、タブレット授業を中学2年生まで広げる予定です。

地域集会施設整備事業

／児童館管理経費

予算額 3,782万円



↑湯の沢児童センター

建築から40年近く経ち、老朽化した萱沼児童館を、新たに地域集会施設として建て替えを行います。また、同様に建築から35年近く経つ湯の沢児童センターも、耐震診断結果に基づき耐震補強工事などを実施します。

都市マスタープラン策定業務

／まちづくり構想推進事業

予算額 1,186万円



↑松田町上空からの空撮

長期的視点に立った、まちづくりの将来像を明確にし、将来のあるべき姿をより具体的に示し、課題とこれに対応した整備等の方針を明らかにする計画を昨年度から継続して策定しています。また、新松田駅周辺地域の総合的なまちづくりを推進するため、基本方針・基本構想を策定します。

母子保健事業など

予算額 4,698万円



↑母子共に健康をサポート

母子保健法等に基づいた健康診査、健康教育、健康相談などのほか、町独自の取組みとして、妊産婦歯科健康診査、特定不妊治療費助成事業、また、新たな取り組みとして不妊症治療費助成事業を実施し、切れ目のない妊娠・出産・子育て支援の体制を強化します。